

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年6月2日(2011.6.2)

【公表番号】特表2008-510739(P2008-510739A)

【公表日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-014

【出願番号】特願2007-528639(P2007-528639)

【国際特許分類】

C 07 C 319/20 (2006.01)

C 07 C 323/52 (2006.01)

B 01 J 19/02 (2006.01)

【F I】

C 07 C 319/20

C 07 C 323/52

B 01 J 19/02

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年4月13日(2011.4.13)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

3-メチルチオプロピオンアルデヒドへの青酸の付加によって得られる付加生成物2-ヒドロキシ-4-メチルチオブチロニトリルを、硫酸と反応させ、中間体の2-ヒドロキシ-4-メチルチオブチルアミドを経て、2-ヒドロキシ-4-メチルチオ酪酸を製造する方法において、2-ヒドロキシ-4-メチルチオブチルアミドへの2-ヒドロキシ-4-メチルチオブチロニトリルの反応および2-ヒドロキシ-4-メチルチオ酪酸への引続く反応を、使用される反応媒体に対して耐蝕性の、合金鋼および/またはニッケル合金から完成された反応容器中で実施し、かつ該反応容器の構造材料が、ASTM G 4-68により測定して、60以下の温度で0.06mm p.a.未満の削磨速度を有するか、または110以下の温度で0.1mm p.a.未満の削磨速度を有し、その際、2-ヒドロキシ-4-メチルチオブチルアミドへの2-ヒドロキシ-4-メチルチオブチロニトリルの反応を60以下の温度で、2.4602、2.4605、2,4856および1.4562の群から選択される材料から完成された反応器、熱交換器、ポンプおよび管路中で実施することを特徴する、2-ヒドロキシ-4-メチルチオ酪酸を製造する方法。

【請求項2】

反応器、熱交換器、ポンプおよび管路を材料2.4602から完成させた、請求項1記載の方法。

【請求項3】

反応器、熱交換器、ポンプおよび管路を材料2.4605から完成させた、請求項1記載の方法。

【請求項4】

反応器、熱交換器、ポンプおよび管路を材料2.4856から完成させた、請求項1記載の方法。

【請求項5】

反応器、熱交換器、ポンプおよび管路を材料 1 . 4 5 6 2 から完成させた、請求項1記載の方法。

【請求項 6】

2 - ヒドロキシ - 4 - メチルチオ酪酸への 2 - ヒドロキシ - 4 - メチルチオブチルアミドの加水分解工程を 1 1 0 以下の温度で材料 2 . 4 6 0 5 からなる反応器中および熱交換器中で実施する、請求項 1 記載の方法。

【請求項 7】

2 - ヒドロキシ - 4 - メチルチオ酪酸への 2 - ヒドロキシ - 4 - メチルチオブチルアミドの加水分解工程を 1 1 0 以下の温度で材料 2 . 4 6 0 2 または 2 . 4 6 0 5 からなる管路中で実施する、請求項 1 記載の方法。

【請求項 8】

方法を材料 2 . 4 6 0 5 からなる管路で実施する、請求項7記載の方法。

【請求項 9】

2 - ヒドロキシ - 4 - メチルチオ酪酸への 2 - ヒドロキシ - 4 - メチルチオブチルアミドの加水分解工程を 1 1 0 以下の温度で材料 2 . 4 8 1 9 (Hastelloy C-276) または 2 . 4 6 0 5 からなるポンプで実施する、請求項 1 記載の方法。

【請求項 10】

方法を材料 2 . 4 8 1 9 からなるポンプで実施する、請求項9記載の方法。